

科目名	地域包括ケア管理学特論			担当教員名	宇田 淳、大石 雅子、 岡 耕平	
該当DP	3	単位数	1単位	選択	配当年次	1年次・第2 Semester (前半)
曜日・時限	金曜日・5限目			教室	オンライン授業	
授業概要	<p>少子高齢社会での高齢期の社会福祉制度、介護保険制度の変遷、理念と枠組みを踏まえ、地域で生活を継続するための地域包括ケアシステムの具体的な動向を学びます。そして、将来を見据え高齢期に生きがいを持ち自己実現できるための支援と地域共生社会への展開について議論します。議論を通して、高齢者ケアだけではなく児童や障害者のケアなどを含む、地域共生社会への基本となる理念、考え方を学びます。なお、本講義は、看護管理学習テキストの第1巻ヘルスケアシステム論第2章の内容を包括しています。</p>					
到達目標	<p>1) 地域包括ケアの取り組みの実際を知る。 2) 地域での高齢者のみならず障害・児童・生活困窮分野を超えて制度・分野横断的な全世代型地域包括ケアシステムについて説明できる。 3) 高齢期になっても地域で生活を継続できるための地域包括ケアシステム、地域参加・地域づくりについて提案できる。</p>					
回	日程	見出し	内 容			実践的な 授業方法
1	9/20	地域包括ケア概論 (宇田)	地域包括ケアの概念と様々なライフサイクル、健康レベルにある人々の地域における健康支援、サービス提供のシステムを検討する。 [グループディスカッション]			○
2	9/27	地域包括ケアの実際 (高齢者)(宇田)	高齢者の生活実態から、地域一体となり高齢者を支える地域包括システムについて、受講者の事例を含めて検討する。[グループディスカッション]			○
3	10/4	地域包括ケアの実際 (臨床栄養)(宇田)	生活習慣病の発症予防、重症化予防、低栄養予防、フレイル予防など、地域の高齢者の食の現状から、地域包括ケアシステムの推進における行政管理栄養士の役割をディスカッションする。[グループディスカッション]			○
4	10/11	地域包括ケアの実際 (障害者)(岡)	障害のある人に対するサービスや支援の制度について概観する。また、障害の医療モデルと社会モデルのちがいを踏まえ、社会モデルに基づいた障害のある人に関する地域包括ケアのあり方について議論する。[グループディスカッション]			○
5	10/18	地域包括ケアの実際 (社会福祉士)(宇田)	地域包括ケアシステムの推進における社会福祉士、ソーシャルワーカーの役割について学び、課題を検討する。[グループディスカッション]			○
6	10/25	地域包括ケアの実際 (子ども)(宇田)	地域包括ケアの先にある地域共生社会を視野に入れた、現在の子どもへの支援やサービス提供システムについて学び、課題を検討する。 [グループディスカッション]			○
7	11/1	地域包括ケアの実際 (薬剤)(大石)	地域包括ケアシステム下での医薬品使用の実例とリスクポイントについて解説し、受講者の事例を含めた医薬品安全管理についての対策についてディスカッションを行う。[グループディスカッション]			○
8	11/8	地域包括ケアの展望 (宇田)	住み慣れた地域で暮らしの実現に向けて、医療や介護、行政サービス等に携わる専門職の役割について、考える。[グループディスカッション]			○
キーワード		地域包括ケア、地域共生社会、多職種	履修条件	なし		
教材等	教科書(要事前購入)	教科書は特に指定しない。講義で使用する資料は適宜配付する。				
	参考書(任意購入)	講義中に適宜紹介する。				
成績評価方法(%) [評価のポイント]		①授業への参加状況(30%)、②レポート(70%) [①講義への積極的参加、②講義内容の理解度で判断します。]				
授業時間外で必要な学修		高齢者など深く理解するために、自分のライフスタイルやライフサイクルについて振り返っておくこと。				
学生へのメッセージ		様々な健康課題を抱える対象が、住み慣れた地域で健康な生活を営むことができるという観点から、個々に合った適切なケアを構築して提案できるようになりましょう。				

※ 授業の日程については変更する場合があります。